

# 「学習内容シート」中学校第2学年



中学校数学で学ぶ  
内容を確認しながら  
学習を進めましょう

組 号

名前

学習した内容がどれくらい  
分かったか、当てはまる  
番号に丸を付けましょう。  
1...よく分かった  
2...まあまあ分かった  
3...あまり分からなかった  
4...分からなかった

<領域>		<中学校第2学年で学ぶ内容一覧>		教科書 の該当 ページ	内容の 理解度 チェック	
A 数と式	B 図形	1年間の内容を確認したり単元ごとの内容を確認したりして、学習を進めましょう。 内容ごとに、教科書の問題や学習プリントなどに取り組んで、学習した内容がどれくらい分かったか確認してみましょう。				
D データの活用		用語・記号				
A(1) 文字を用いた式	ア	簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。	同類項	~	1 2 3 4	
		具体的な事象の中の数量の関係性を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすること。		~	1 2 3 4	
	文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。	~		1 2 3 4		
	目的に応じて、簡単な式を変形すること。	~		1 2 3 4		
イ	具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現すること。	~		1 2 3 4		
	文字を用いた式を具体的な場面で活用すること。	~		1 2 3 4		
A(2) 連立二元一次方程式	ア	二元一次方程式とその解の意味を理解すること。		対頂角 内角 外角	~	1 2 3 4
		連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解すること。			~	1 2 3 4
	簡単な連立二元一次方程式を解くこと。	~	1 2 3 4			
	一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。	~	1 2 3 4			
イ	連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。	~	1 2 3 4			
		~	1 2 3 4			
B(1) 基本的な平面図形の性質	ア	平行線や角の性質を理解すること。	定義 証明 逆 反例 ≡		~	1 2 3 4
		多角形の角についての性質を見いだせることを知ること。			~	1 2 3 4
イ	基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明すること。	~		1 2 3 4		
		~		1 2 3 4		
B(2) 図形の合同	ア	平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること。	変化の割合 傾き	~	1 2 3 4	
		証明の必要性和意味及びその方法について理解すること。		~	1 2 3 4	
	イ	三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。		~	1 2 3 4	
		三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること。		~	1 2 3 4	
C(1) 一次関数	ア	一次関数について理解すること。		変化の割合 傾き	~	1 2 3 4
		事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知ること。			~	1 2 3 4
	イ	二元一次方程式を関数を表す式とみること。			~	1 2 3 4
		一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。			~	1 2 3 4
D(1) データの分布	ア	四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。	変化の割合 傾き		~	1 2 3 4
		コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すこと。			~	1 2 3 4
	イ	四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること。			~	1 2 3 4
					~	1 2 3 4
D(2) 不確定な事象の起こりやすさ	ア	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。		変化の割合 傾き	~	1 2 3 4
		簡単な場合について確率を求めること。			~	1 2 3 4
	イ	同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現すること。			~	1 2 3 4
		確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。			~	1 2 3 4



## <数学の学習と用語・記号>

用語・記号は、社会で共通に認められた内容を簡潔に表現したものです。特に記号は操作がやすく、一般性があります。それらを的確に用いることによって、思考を、より正確・的確・能率的に進めることができます。

用語は、数学と日常生活で同じ言葉なのに、意味にずれがある場合があります。各領域で学習する用語・記号については、意味や内容を理解した上で、使うことができるようになりますよ。

## チェックの後には

丸を付けた番号に応じて、学習を進めましょう

- 教科書に載っている問題以外にもチャレンジしたり、生活の中のことを数学を使って考えたり解決したりしましょう。そのことをノートに(レポートに)まとめてみましょう。
- 定期的・計画的に(一ヶ月に一度程度は)内容を復習することを心掛けましょう。また、教科書に載っている問題以外にもチャレンジして理解を深めましょう。
- 教科書の該当ページを読み返して、内容がよく分からないところに印を付けましょう。印を付けたところについては、先生や友達、家族などに質問して理解に努めましょう。
- 分からないところを先生や友達、家族などに質問しましょう。また、分からない内容と似ている内容(1年生で習った)を探してみましょう。

「学習内容シート」の内容について

※一部

中学校数学で学ぶ「4つの領域」を表しています。

領域ごとに整理された学習内容(単元)のタイトルを表しています。

学習内容の項目ごとに身に付く力の違いを「ア」と「イ」で表しています。  
 「ア」…「概念的な理解や数学を活用して問題解決する方法の理解、数学的に表現・処理するための技能などの力」  
 「イ」…「問題を見いだしたり、知識及び技能を活用して問題を解決したりする際に必要な力」

学習した内容がどれくらい分かったか確認した後に、理解度に応じて、新たな問題発見・新たな知識獲得をしたり学び直しをしたりするための学習の進め方(例)を示しています。

**中学校数学で学ぶ  
内容を確認しながら  
学習を進めましょう**

**「学習内容シート」中学校第1学年**

組 \_\_\_\_\_ 号 \_\_\_\_\_

名前 \_\_\_\_\_

学習した内容がどれくらい分かったか、当てはまる番号に丸を付けましょう。

1…よく分かった  
2…まあまあ分かった  
3…あまり分らなかった  
4…分からなかった

<領域>	<中学校第1学年で学ぶ内容一覧> 1年間の内容を確認したり単元ごとの内容を確認したりして、学習を進めましょう。 内容ごとに、教科書の問題や学習プリントなどに取り組んで、学習した内容がどれくらい分かったか確認してみましょう。	教科書の該当ページ	内容の理解度チェック
A 数と式	正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。	自然数	~ 1 2 3 4
B 図形	正の数と負の数の四則計算をすること。	素数	~ 1 2 3 4
C 関数	具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。	符号	~ 1 2 3 4
D データの活用	算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現すること。	絶対値	~ 1 2 3 4
A(1) 正の数と負の数	正の数と負の数を具体的な場面で活用すること。	項	~ 1 2 3 4
A(2) 文字を用いた式	文字を用いることの必要性と意味を理解すること。		~ 1 2 3 4
	文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。		~ 1 2 3 4

チェックの後は 丸を付けた番号に応じて、学習を進めましょう

- 1…教科書に載っている問題以外にもチャレンジしたり、生活の中のことを数学を使って考えたり解決したりしましょう。そのことをノートに(レポートに)まとめてみましょう。
- 2…定期的・計画的に(一ヶ月に一度程度は)内容を復習することを心掛けましょう。また、教科書に載っている問題以外にもチャレンジして理解を深めましょう。
- 3…教科書の該当ページを読み返して、内容がよく分からないところに印を付けましょう。印を付けたところについては、先生や友達、家族などに質問して理解に努めましょう。
- 4…分からないところを先生や友達、家族などに質問しましょう。また、分からない内容と似ている算数の内容(小学校で習った)を探してみましょう。